



暗唱大会に矢部中から参加した皆さんです。

1年生の部の優勝者

藤原尚史 吉村祥平 木原綾那
下田玲華

3年生の部の優勝者

齋藤健志郎 荒木創太郎

10月26日、御船町カルチャーセンターで行われた上益城郡英語暗唱大会。1年の部で矢部中が優勝、2年の部でも矢部中が2位、3年の部では、矢部中が優勝、2位には清和中が入りました。

36回目を迎えたこの大会は、教科書の教材を暗唱することで英語を話すことに自信を持たせると共に自己表現力を養うことを目的としており、数名の会話形式による発表が行われました。

この大会の会長を務めている矢部中学校の青木一幸校長先生は「山都町の中学校は毎回この大会で好成績を残している。それは、山都町で行われてきた、小学校高学年（5年生6年生）での英語学習指導が大きな要因。これは会長としてとても嬉しいことです。」と頷をゆるませ話してくれました。

英語暗唱大会で活躍

矢部中が2学年で優勝



矢部中 郡体陸上競技で20年ぶりのV

9月22日に益城町陸上競技場で行われた、上益城郡中学校総合体育大会 陸上競技の部で、女子の部優勝と、20年ぶりとなる総合優勝を飾りました。

大会では、110mハードルで優勝した井手陵介くん（3年）をはじめ、多くの競技で優勝や入賞が続出し、男子の部は4位、女子の部で優勝を果たしました。

郡中体連の陸上競技の部は、陸上部だけではなく、バスケットボールなど他の競技部も参加する学校選抜の大会。大会に参加した約60人の生徒は、夏休み期間中から練習に取り組みました。なかには本来の部活動と平行して練習に参加した生徒もいたそうです。大会で生徒を率いた荒牧浩一先生は「3年生を中心に練習に積極的に参加してくれた。そのことが全員を盛り上げ、今回の優勝につながったと思う。」と語ってくれました。

10月8・9日に行われた県大会でも、出場した矢部中生徒は輝きを放ち、代表1500mで中川京香さん（2年）が3位に、1年100mで石原菜緒さんが6位入賞を果たすなど、多くの種目で入賞しました。

T&F蘇陽 400mRで栄冠 ～熊日学童五輪～

陸上クラブT&F蘇陽が熊日学童五輪の4年生400mリレーで1分1秒というタイムで優勝しました。

この大会は、10月22日に県民総合運動公園陸上競技場で行われ、男女32の種目に約1000人が競い合いました。

栄光を勝ち取った4人は、予選・決勝でその実力を思う存分発揮し、県ナンバーワンという称号を得ました。この大会でT&F蘇陽はリレーをはじめ多くの種目で入賞を果たしています（※）。

T&F蘇陽は、馬見原小の田中宏和先生指導のもと、一昨年の夏に活動を開始、以前小峰小などで陸上競技を指導されていた田中先生が馬見原小に赴任された年でした。当初は3人でのスタートでしたが、現在は馬見原小・大野小・菅尾小・蘇陽小の2年生と6年生の児童23人が所属し、毎週水曜日の午後5時から1時間半、馬見原小学校を中心に練習しています。田中先生は「基礎を教えながら、鬼ごっこなどゲーム要素を取り入れながら練習しています。」と児童が楽しんで陸上競技に取り組めるような工夫をされていました。この23人の今後の活躍が楽しみです。

矢部中女子が優勝

～上益城郡中体連駅伝大会～



10月25日、益城町で開催された上益城郡中学校総合体育大会駅伝競走大会。この大会の女子の部で矢部中学校が20年ぶりの優勝を果たしました。

益城町町民グラウンドをスタートゴールとする5区間 12.54kmのコースで行われたこの大会には7校 11チームが出場しました。矢部中Aは、1区から4区まで甲佐中を追いかける展開。最終区にタスキが渡ったときは1分に差が開いていました。しかし、5区中川京香さん（2年）が驚異的な追い上げを見せ、ゴールの100m手前で甲佐中を捉え、そのまま抜き去りゴール。4人が繋いできたタスキをトップでゴールに運びました。

この優勝により出場を勝ち取った県大会は11月11日に本渡市で行われ、矢部中は各選手懸命に走りましたが、県大会の壁は厚く、23位という結果でした。

矢部中優勝メンバー（敬称略）	3区 吉岡あなん（2年）
監督 荒牧浩一	4区 田上三奈（2年）
1区 一瀬遥香（3年）	5区 中川京香（2年）
2区 石原菜緒（1年）	

郡駅伝大会の結果（町関係）	【男子の部】
【女子の部】	矢部中A 5位
矢部中A 1位	蘇陽中A 7位
蘇陽中 8位	矢部中B 9位
矢部中B 10位	清和中 13位
	蘇陽中B 14位



練習は笑顔あふれ本当に楽しそうでした。

※リレーのほかにもこんなに活躍!

100m(4年生)	2位	栗屋大夢
走り幅跳び(共通)	5位	栗屋大夢
走り幅跳び(4年)	4位	橋本怜奈
走り幅跳び(5年)	4位	木山亜美



リレーの優勝メンバー。高橋颯太くん（前列右）・甲斐大雅くん（前列左）・栗屋大夢くん（後列左）・後藤将希くん（後列右）。最後列が田中先生